

アメニクリーン

化学反応・特殊型脱臭剤

排水処理施設の悪臭対策に 化学反応ですばやく脱臭します

下水、し尿処理場や各種事業場の排水処理施設で発生するさまざまな臭気は、周辺住民の苦情となる可能性が高く、的確な対応が求められます。排水処理用途における「アメニクリーン」は、原因物質を化学反応させることで無臭物質に変化させ、悪臭を発生させないようにします。新たに排水処理施設以外でも使用可能な特殊型も取り揃えました。



◆アメニクリーンの特長

悪臭の原因物質を化学反応で確実に除去します。

1 化学反応により、悪臭の原因物質である硫化水素、メチルメルカプタンを無臭物質に変化させ、悪臭を確実に除去します。噴霧可能なタイプも取り揃えました。

微生物の活動を抑制し、腐敗の進行を止めます。

2 硫化水素やメチルメルカプタンは、汚泥などの腐敗の進行に伴って連続的に発生します。腐敗の原因となる微生物の活動を抑制することで、悪臭を発生させにくくします。

少量で効果を発揮。低コストで運用できます。

3 「アメニクリーン」は、他の脱臭方法と比較して少量で効果を発揮します。したがって、排水処理施設の既存の設備や工程を変更する必要がなく、低コストで運用できます。

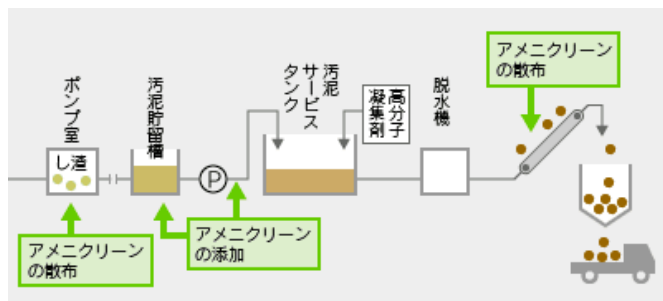
機器の腐食防止や作業環境の改善にも役立ちます。

4 原因物質を除去することで、機器の腐食防止やコンクリートの劣化防止、重力濃縮槽の汚泥浮上防止のほか、作業環境の改善など、脱臭以外の効果ももたらします。

特殊成分により使用範囲が広がりました。

5 特殊型は、従来のアメニクリーンでは性能、成分的に対応できなかった臭気に対し、効果を発揮します。

適用例（下水処理場）



添加による脱臭

測定方法

アメニクリーン130REを汚泥に添加し、脱水機から排出された脱水ケーキをポリ瓶に取り、25°Cの恒温槽に保存して悪臭成分を測定。

測定結果

アメニクリーン 130RE	添加直後		24時間後		48時間後		72時間後	
	H ₂ S	MM	H ₂ S	MM	H ₂ S	MM	H ₂ S	MM
無添加	60	20	250	85	580	160	820	230
100	0	0	5	1	20	5	55	36
200	0	0	0	0	0	0	5	0
300	0	0	0	0	0	0	0	0

H₂S：硫化水素 MM：メチルメルカプタン 単位：ppm

アメニクリーンのご使用にあたって、各種装置のご提案もおこなっておりますので、お気軽にご相談ください。

使用基準

添加／50～500ppm（原液）添加で使用する
散布／1000～3000ppm（原液）散布で使用する

※ 使用タイプ別の希釈倍数、添加率の基準です。
実際の臭気に応じて最適の使用量・使用方法をご提案させていただきます。

主要製品一覧

種 別	アメニクリーン 製品NO.	主成分	特 長	荷 姿
金属塩	131	金属塩	悪臭成分（硫化水素、メルカプタン類）を化学反応し、除去。	20kg 石油缶
	130RC	金属塩＋植物性精油	悪臭成分の除去と汚泥臭を臭気中和。	20kg 石油缶
	130RE	金属塩＋腐敗抑制剤	悪臭成分の除去、さらに脱水ケーキからの悪臭の再発生を防止。	16kg ポリ缶
無機塩	510	無機塩	悪臭成分（硫化水素、メルカプタン類）を化学反応し、除去。	18kg 石油缶
	570	無機塩＋腐敗抑制剤	悪臭成分の除去、さらに脱水ケーキからの悪臭の再発生を防止。	20kg 石油缶
	530BN	無機塩＋腐敗抑制剤	悪臭成分の除去、さらに脱水ケーキからの悪臭の再発生を長期に防止。	13kg キュービテナー
酸化剤	310	無機塩	悪臭成分（硫化水素、メルカプタン類）を化学反応し、除去。	25kg ポリ缶
有機酸	810	有機酸塩	噴霧使用可能な化学反応型、無臭タイプ。	18kg 石油缶
	820C	有機酸塩	噴霧使用可能な化学反応型、シトラス（オレンジ）の香り。	18kg 石油缶

実施例



アメニクリーン使用装置



脱水ケーキコンベアに散布



送泥管に添加

取り扱い上の注意および保管上の注意

1. 本製品を試験室、または製造現場でご使用になる場合は、使用前に必ず当社発行の製品安全データシート（MSDS）を熟読の上、記載された注意事項などを厳守してください。
2. ご使用の際はゴム手袋、保護メガネなどの保護具を着用し直接手に触れないようにしてください。
3. 誤って皮膚についたり目や口に入った場合、清水で十分洗い流した後、専門医の処置を受けてください。
4. 他の薬品と絶対に混合しないでください。また、酸、アルカリ、塩素剤と一緒に保管しないでください。

お願い

1. この資料に記載しているデータは、当社の実験的試験資料に基づくものですが、実際の現場使用結果を保証するものではありません。現場での使用に当たっては事前に使用条件、使用方法およびこれらの条件下での効果をご確認ください。
2. 記載内容は、新しい知見などにより、改正されることがあります。